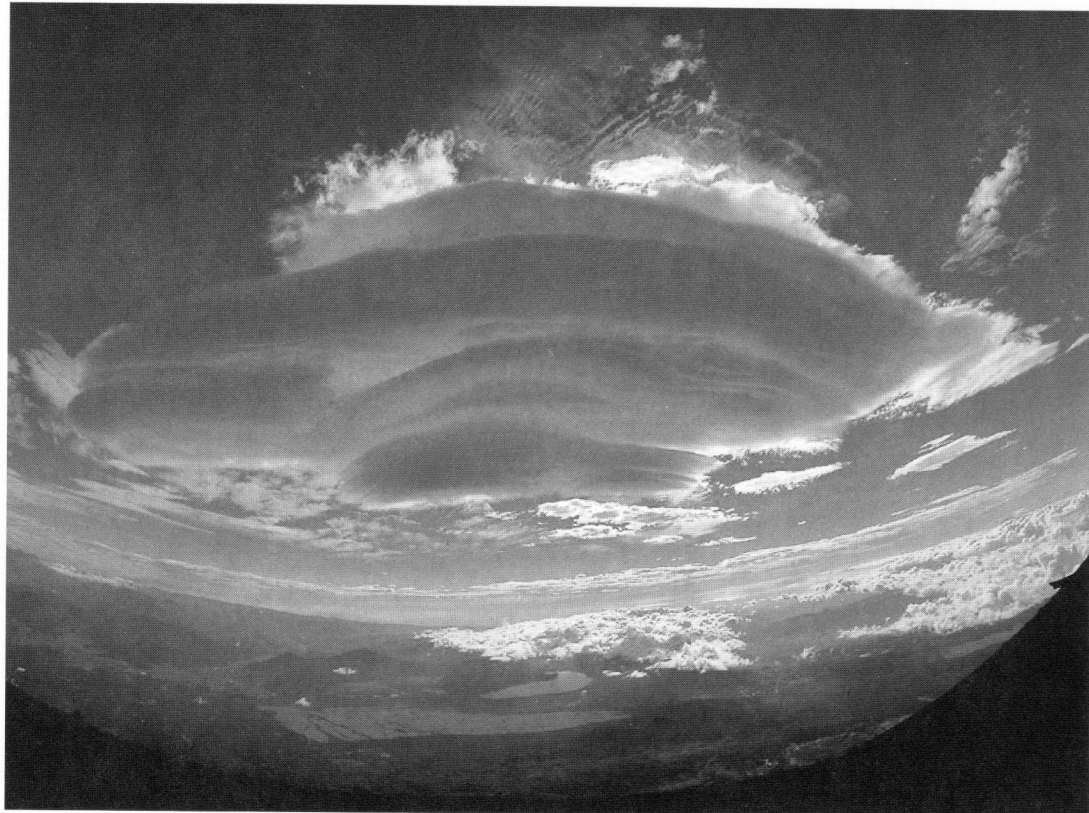


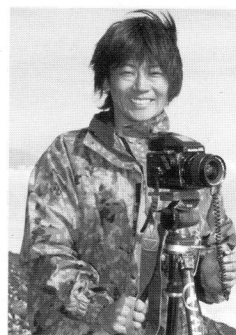
富士山頂で見つけた夢

「♪日本一の富士山は〜♪」

校歌にも登場し、晴れた日には校舎からも見える富士山。山頂の壮大な風景の数々を収めた写真集を学校に寄贈していただいた、浦和区にお住まいの写真家、小岩井大輔さんに、「夢」を持つことの大切さを語っていただきました。



富士山頂に現れる、UFOのような形の「吊し雲」。目の前でグルグル回転し、まるで生き物のようだ

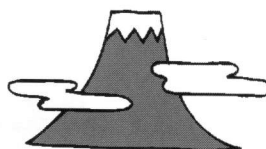


<プロフィール>

1973年生まれ。

20歳の時に富士山に魅せられ写真撮影をはじめ、様々な風景・人に出会い、富士山全般をテーマに活動。風景写真第一人者の竹内敏信先生・神吉猛先生に師事。NHK 写真コンクール「富士山」21才(最年少)入選。

写真家 小岩井 大輔 さん



■「俺は生きている！」

仲町小学校の児童・保護者のみなさん、こんにちは！小岩井大輔です。みなさんに少しでも何か伝えられればと思い、ちよつと長いですが「夢」についてお話をさせていただきます。

■自分探しの中で出会った富士山

私の小学校時代は、勉強嫌いで忘れん坊、先生方はかなり苦労したと思います。でも、体育や図工は得意で、近所の道場で空手もやっていました。

社会人になり、たくさんあった夢もいつの間にか薄れ、自分探しをしている時に、精進湖から富士山の夜明けを見ました。全身に稲妻が走るような衝撃。「今までこんな世界見たことも感じたこともない。こんな光景が世の中にあつたのか……」衝動的にカメラ機材を買いそろえ写真を撮り始めました。使い捨てカメラしか触ったことがなかったため、独学で勉強しました。

毎週末、徹夜明けでも富士山に通い、林間学校で登らされて以来大嫌いだつた登山も始めて、富士山に見える山々を踏破し、気がつけば富士山に魅了され人生が大きく変化していききました。

しかし、人生はそんなにうまく行くものはありませんでした。勤めていた会社が突然の倒産。全てが真っ白になり、何も考えられない日々。自分だけが世間から取り残されていた。写真も夢もあきらめかけていた時、様々な人に助けられ、数ヶ月ぶりに富士山に会いに行くことができました。

久々に富士山を見つめて「日本一高い山は、土台も日本一だ。」真の富士山を感じたいと思いました。生きる勇気が湧いてきて、その年の夏から頂上の小屋従業員として働きながら写真活動をスタート。登山道の整備や登山者の救助、土産販売や食事の提供、宿泊客のお世話などの仕事をしながら、合間に撮影を行っています。

素晴らしい光景を見せてくれる自然は時にはとても厳しく、体ごと飛ばされそうな突風が吹き荒れます。三脚にしがみつき強風に耐えている時、汚れた心が洗い流されていく。自然の中では人間はとつても小さな存在です。

山頂風景で特に面白いのが雲です。富士山は独立峰のため気流が激しく、「吊し雲」というキノコやUFOの形に似た特有の雲が現れます。

目の前でグルグル回りながら変化する様は迫力満点。無心でシャッターを切っていると、「俺は生きている！」と実感します。

■これからの君たちへ

夢を追い求めると必ず大きな山や壁が現れます。それは神様が与えてくれた、必ず乗り越えられる壁です。乗り越えたときに新しい自分を発見します。夢を持つことは大切なこと。

でも、もつと大事なことはその夢を実現する過程だと思っています。結果ではなく、過程が人を変えていく。努力した気持ちは絶対に無駄にはなりません。そして、夢は一人でつかむ事ではありません。出会いを大事にしてください。楽しいこと、嫌なことをみんなで分け合うと、楽しいことは大きくなり、嫌なことはとつても小さくなります。

みなさんは、これから何にでもなることができます。他人と比べて「自分はダメだ」と決めつけて、あきらめないでください。誰もが自分にしかない、特別な個性を持っています。自信を持って挑戦してみてください。私もみなさんといっしょにがんばります！

今を撮り、今を生きる

小岩井 大輔



学校の図書館に寄贈していただいた写真集
「Mt. FUJI 3776 富士山頂の世界」
山と溪谷社